

◆◆◆教材の概要◆◆◆

祖父の最期を看取る主人公の思いや、家族の愛情を通して、生命の有限性や尊さを感じ取ることができる教材である。毎日祖父の見舞いに行き、少しでも元気づけようとする主人公の思いを、丁寧に考えさせるようにしたい。また、亡くなった祖父が残したのし袋から、自分の生命が自分のものだけでなく、祖父の深い愛情や思いによって支えられていることに気付くことができる。家族の愛情やつながりを考えることで、生命のつながりについても考えることができる。生命の有限性、連続性に着目させながら、自他の生命を尊重する心情を育むことができる教材である。

◆◆◆教材の活用◆◆◆

生命はかけがえのないものだということは、知識的にも常識的にも分かっている児童が多い。その中で、なぜ命はかけがえのないものなのか？それは、唯一無二の物であることや、様々な人々との支え合いの中で育まれていること、さらに、祖先から自分そして子孫へ受け継がれていくものであることを再確認し、生命のかけがえのなさを自覚することが大切であると考え。そして、生きることの喜び、死の重さ、共に生きることの素晴らしさを考え、自他の生命を尊重し、与えられた命を精一杯に、力強く生き抜こうとする心を育てたい。

◆◆◆中心発問◆◆◆

のし袋の中の手紙に書かれた字を見たとき、主人公はどんなことを思っただろう。

◆◆◆板書計画◆◆◆

受けつぐ

- ・じいちゃんの方も生きる。
- ・自分の命を精一杯生きる。
- ・じいちゃんのように家族を大切に。

三ヶ月後

死

- ・最後の最後までくを大切に思ってくれていたんだ。
- ・ありがとう。
- ・いつまでも見守っていてね。
- ・じいちゃんの方もがんばって生きていくよ。

次の日から

毎日お見舞い

- ・一日でも長生きしてほしい。
- ・一緒の時間を楽しく過ごしたい。
- ・毎日行けば治るかも知れない。
- ・精一杯のことをしたい。

じいちゃん あと3ヶ月の命

何であと三ヶ月なんだろう。

悲しい・悔しい・信じられない。

何とか治らないものか。

何かできないかな。

毎日お見舞いに行こう。

もつと一緒にいたい。

その思いを受けついで

のし袋

◆◆◆道徳的価値 “生命の尊さ” について◆◆◆

生命を大切に尊重することは、かけがえのない生命をいとおしみ、自らもまた多くの生命によって生かされていることに素直に応えようとする心の表れと言えます。高学年の段階においては、個々の生命が互いを尊重し、つながりの中にあるすばらしさやかけがえのなさについて理解を深めるとともに、生死や生き方に関わる生命の尊厳など、生命に対する畏敬の念を育てることが大切です。また、様々な人々の精神的なつながりや支え合いの中で一人一人の生命が育まれ存在すること、生命が宿る神秘、祖先から祖父母、父母、そして自分、さらに、自分から子供、孫へと受け継がれていく生命のつながりをより深く理解できるようになります。家族や仲間とのつながりの中で共に生きることのすばらしさ、生命の誕生から死に至るまでの過程、人間の誕生の喜びや死の重さ、限りある生命を懸命に生きることの尊さ、生きることの意義を追い求める高尚さ、生命を救い守り抜こうとする人間の姿の尊さなど、様々な側面から生命のかけがえのなさを自覚し生命を尊重する心情や態度を育むことができるようにすることが大切です。

◆◆◆学習指導案（本時のねらいと展開）◆◆◆

本時のねらい

大好きな祖父の死を経験した主人公を通して、生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重しようとする道徳的心情を育てる。

本時の展開

	学習活動	発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	・教材についての関心を高める。	この中には何が入っているでしょう。 ・お金、手紙	・のし袋を用意し教材について関心を持たせる。
展開	・教材を読む。 ・じいちゃんの状態を知った主人公に共感する。 ・お見舞いに行く主人公の心情に共感する。 ・のし袋の中の手紙の字をみた時の主人公の心情を考える。 ・じいちゃんの思いを受けつぐとはどのように生きることなのかを考える。	声をあげて泣いているとき、ぼくはどんなことを考えているだろう。 ・悲しい。 ・何とか直らないのか。 ・毎日お見舞いに行こう。 ・残された時間を大切にしよう。 ・おじいちゃんに何かできないかな。 ・信じられない。・うそだ。 ぼくは、どんな思いで毎日お見舞いに通ったのだろう。 ・一緒にいる時間を大切にしたい。 ・精一杯のことをしたい。 ・僕の顔を見せたらきっと喜んでくれる。 ・毎日行けば治るかもしれない。 のし袋の中の手紙に書かれたふるえて力のない字を見たとき、ぼくはどんなことを思っただろう。 ・最後の最後までぼくを大切に思ってくれたんだ。 ・ぼくをかわいがってくれてありがとう。 ・いつまでもぼくを見守っていてね。 ・じいちゃんの分もがんばって生きていくよ。 その「思い」を受けついで。受けつぐってどういうことなのだろう。 ・生き抜くこと。 ・自分の命を精一杯生きること。 ・じいちゃんの分も生きること。 ・家族を大切にすること。	・教材を範読する。 ・挿絵を用いてイメージをもたせる。 補助発問： 「温かな、強い思いってどんな思いだろう。」 ・じいちゃんの思いが僕の中に生き続けていくことやおじいちゃんから受け継いだ命を精一杯生きていくことなどの思いを感じ取らせたい。 ・教材のタイトルに戻って、受けつぐとはどのように生きていくことなのかを問うことで、生命尊重についての考えを深める。 ・生命尊重に照らして板書を整理し、焦点化を図るようにする。
終末	・この時間に感じたこと、考えたことをまとめる。	今日の学習を振り返って感想を書きましょう。	・BGM = オルゴールやピアノの音楽。

評価の視点（例）

- 自他の生命を大切に思い、今ある生命を精一杯生き抜こうとする思いが、中心場面での発言や振り返りシートの記述から窺える。